

めじろ台まちづくり協議会

緑化・景観 G

2021年8月29日（日）全体会

本日の議論の流れ

1. 幹事会の報告（内藤さんより）
2. 全体会報告について
3. 今後やるべきこと、進め方の確認

3. 今後やるべきこと、進め方の確認

今後の取組一覧（内藤さん作成、大井加筆修正）

	やること、説明の相手方	詳細内容	時期
八王子市役所正式申請に向けて	ベンチやコンテナと祭りに出店する	現地調査	実施済、次回のWGで共有
	夜店の競合調査		別途
	ベンチ、コンテナの商品選定	品番、寸法、重量、固定金具等を検討	決まり次第
	アドバイザー面談 打ち合わせ	プランや植栽についてアドバイスを求める	8月中
	現地再々実測	道路占有許可基準との整合性	必要に応じて
協議会関係	整備計画イラスト図作成	必要があれば * 専門家作画	
	全体会説明	プラン案について説明	本日（8/29）
町会関係説明	2班に対する個別説明	必要かの判断必要	未調整
	めじろ台町会連絡協議会（4町連）	プラン案について説明	9/18の予定
	祭り幹事町会・夜店担当町会		9/18以降
	祭り団体説明 一心会等3団体		9/18以降
	各町会への回覧と掲示板情報発信		9/18以降
横山南地区町会連合会	別途		
めじろ台花壇の会関係団体・機関助成金申請	会長説明	プラン案について説明、メンテナンス体制についての相談	9/18以降
	京王バス	ロータリー歩道部分でのベンチ設置説明	10月中
	京王電鉄（必要に応じて）	同上 + 計画全般	10月中
	タクシー会社（必要に応じて）	ロータリー歩道部分でのベンチ設置説明	10月中
	東京都都市づくり公社	助成金申請に向けた相談	9月以降

3 . 今後やるべきこと、進め方の確認

今後の進め方について

- ・ 9月には町会関係の方へのご説明、まちづくり公社さんとのご相談、道路占有許可基準と整合しているかの確認、アドバイザー決定に向けた相談などを進めます
- ・ 関係各所への説明、調整は大井と内藤リーダーが中心となって進め、現地調査等は地元メンバーの皆さま中心で進めていただきたいと考えています
- ・ 取組みは担当者が個々に進めますが、WGで定期的に状況を共有します
- ・ アドバイザーの方が決まる運びとなれば、いただいたアドバイスを受けての対応やベンチ・コンテナなどの決定に向けて、グループ全体で検討します

めじろ台まちづくり協議会
駅前活性化WG（2班）
2021.8.15 sun 13:00～15:00

< 本日の議題 >

- 1 . 前回振り返り
- 2 . 今後の取り組みについて
 - ①活動資金について
 - ②ニーズ調査について（アンケートやヒアリングなど）
 - ③空き店舗活用で行う活動・コンテンツについて

まちづくり支援メニュー（東京都・国土交通省）

支援制度	支援主体	支援メニュー	実施主体	上限・補助率他
まちづくり支援事業	東京都都市づくり公社	<ul style="list-style-type: none"> ① まちづくり活動・相談 ② まちづくり調査 ③ まちづくり事業 	住民グループ等	<ul style="list-style-type: none"> ① 50万円 ② 500万円 ③ 500万円
エリアリノベーション推進事業	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ① 現況調査 ② エリアビジョン作成 ③ 空き家等の再生活用企画等 	市町村	<ul style="list-style-type: none"> ① プロデューサーへの委託費補助 ② 1年目100%、2年目2/3、3年目1/2 ● 十日先生が審査委員長
住まい住環境整備モデル事業	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育て世帯向け住宅 ② 多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点（共同リビング、こども食堂、障害者就労の組合せなど） ③ 効果的に見守る高齢者向け住宅 ④ 長く健康に暮らせる高齢者住宅 ⑤ 住宅団地の再生につながる 	事業を実施する者、管理するものなど、主体形式には取り決めなし	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題設定型、事業者提案型は3億円 ② 事業育成型は500万円 ③ 建設・取得の場合1/10 ④ 改修の場合2/3 ● 大月先生が審査委員
商店街空き店舗活用事業	東京都産業労働局	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域での創業支援 ② 地域ブランドのPRや全国各地との連携 ③ 保育・介護・学童保育等 	商店街及び商店街の連合会 商工会、商工会連合会及び商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ① 都補助率3/4、事業者負担率1/4、 ② 補助限度額3,000万円

論点

1 . めじろ台の住宅地としての歴史を踏まえて、商店街をどのように方向づけるべきか？

- 商業地文化は必ずしも形成されてこなかった背景
- 住民が必ずしも地域内の店舗にのみ期待していないかもしれない可能性

2 . 空き店舗活用のスペースは、商売として成功させるべき場所か、あるいはコミュニティの拠点としてのスペースとして考えるべきか。

- 賃料ビジネスが成立するか。
- そうはいつでも賃料をいかに負担するか（家賃交渉や融資をうけるなど）
- 運営主体（責任主体）をどうするか（法人火するか、特定の個人がやるか）

メンバー：繁在家さん、金剛さん、鈴木さん、東郷さん、西さん（マチトワ）、小林さん（4・6班）、大西さん（4・6班）、中村さん、竹野さん、高鍋さん、今田

駅前活性化班

・ 商店街の活動資金について

エリアリノベーション推進事業事例：池上

たましん（地域のPRされている）、山梨信金に資金の融資をお願い
商店街との調整 9月以降

・ アイデアリストについて

① 飲食関連

お惣菜、お弁当、カフェ、カレー会 etc...

② 本に関する何か

古本屋、書店、図書スペース

③ 子供たちを取り込むもの

DIY、モノ作り体験、ドローン、プログラミング

④ その他

DIY、映画会、作品展

→人材発掘が必要

・ めじろ台の商売

- ・ ソフトの面でも選ばれない理由があるのでは？
- ・ ショッピングセンターに行く動機がない
- ・ 車社会の中で簡単なものは買いに行ける
- ・ めじろ台の商店街情報がない
- ・ オンリーワンがあればよいが
- ・ 商店街に一定のリスペクトをしながらどう提案していくか

めじろ台まちづくり協議会
駅前活性化WG（2班）
2021.8.29 sun 13:00～16:30

< 本日の議題 >

- 1 . 前回振り返り
- 2 . 今後の取り組みについて

■ 商店会との関係

- ・ 会長の了解を得て、齋藤さんが今回より参加。
- ・ 活動の経過報告をしながら、商店会の理解と協力を得ていく。

■ 商店街において何が大事か

- ・ FUN : 楽しさを生み出す場にする (自分が楽しい、人を楽しませられる)
- ・ FAN : ファンをつくっていく
- ・ SC をつくるのではなく、周辺 SC への交通サービスを考える
- ・ 既存店の発展アイデア出し

■ 必要なお店・機能

- ・ 新しいイタリアン、若い子が入っている。人気。
- ・ スタバ、タリーズなどもあるといい。
- ・ 高尾山に不足しているものの調査

■ スタートのさせかた

- ・ まずは実験イベントから (スポットイベント) 開始。
- ・ 金子さん所有の空き店舗物件多数あり (1F,2F とも)。齋藤さん 2F にも空き

■ 今後の進め方

- ・ 環境 (空間) 整備の戦略、補助金のチョイスなどを店舗活用と平行してそろそろ

めじろ台駅周辺で活用検討できそうなスペース

2F 空き区画 2つ (20坪)
あり。ただで貸してもよい
(スケルトン)

サンヨードレス
空き予定

ひだまり 2F 空き

広場②

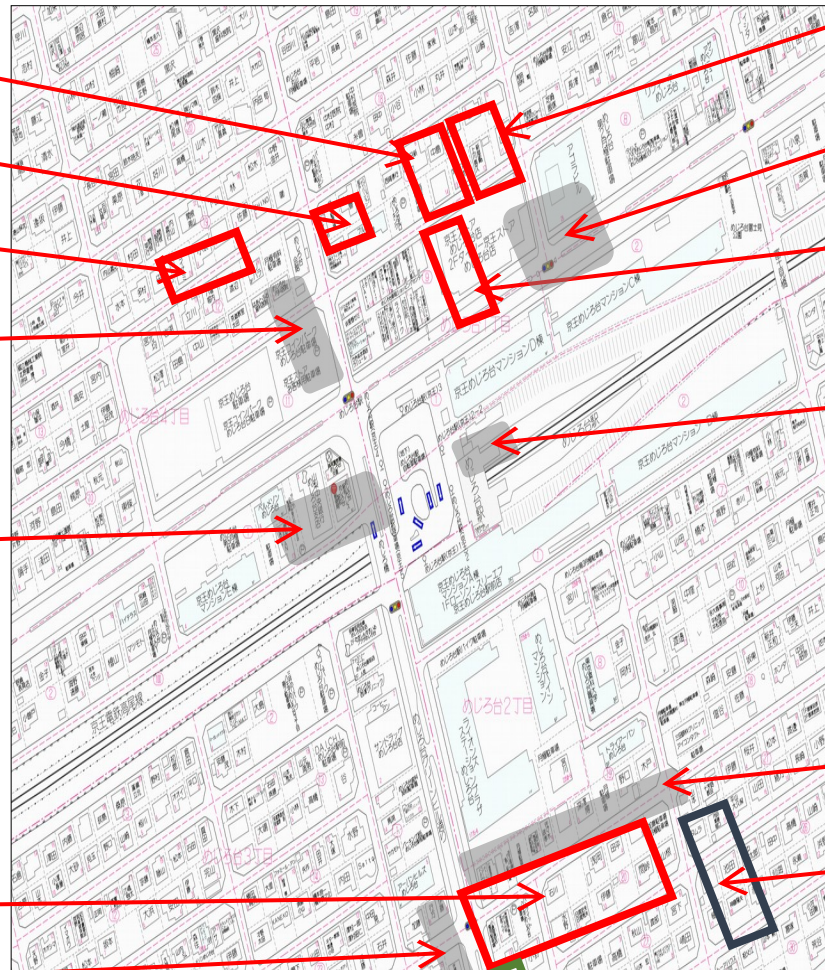
広場③

空き店舗③④

広場⑤

ゼンリン住宅地図出力サービス

東京都八王子市栄1丁目100番地



空き店舗①

広場①

空き店舗② (金子さん)

広場④

広場⑤

通路空間

地下倉庫

活動名	実施主体	活動頻度	ターゲット	備考	提案者
駄菓子屋	高安さん他	月2回土曜日 午後	子供達(+ママ)	真っ先に実施したい	高鍋
作品展	MMC?	1週間の展示 を基本として 月2週開催	住民(主に高齢 者メイン)	スペースへの誘導、 外出のきっかけとし て実施	高鍋
囲碁教室 / 将 棋教室	地域内の有段者 (おそらく指導 経験のある方が いると思いま す)	毎週日曜日午 前	子供を中心に、 親の層、高齢者 も	案外子供ははまりま す。世代を超えた対 話ツールです。	高鍋
趣味の「作 品展」	まちづくり協議 会	原則「一週 間」	オールめじろ台 の皆様(家族で ・・・)	大人の文化祭的要素 としての催事	鈴木
コミュニテ ィ居酒屋	学生などの若年 層から拡大	担当店長(複 数人いる想 定)は月1回	担当店長の知り 合い	緩く関わっていく人 を増やしていく。	西
カレー会	子ども会?	月2回平日お 昼	ママさん	平日の使用回数を増 やす。ママさんた ちが自由に使える場 所を提供	西
DIY 工房	学生・父親を募 集	月に2回日曜 午後	DIYに興味があ る父親+子ども	父親の活躍の場を作 る 初期段階ではない。	西

活動名	実施主体	活動頻度	ターゲット	備考	提案者
Minecraft 会	マチトワ	月 1 回日曜日 午後	中学生以下	ゲームを使っためじ ろ台探索	西
自慢ボック ス設置	市民	常設	高校生以上	自分の自慢や販売可 能なものを置ける棚 を有料で設置する。	西
お話会	住民、駅利用の 学生	月 1 , 2 回程 度	住民、駅利用の 学生	夏休み後から実施し たい（町内の著名人 などを招き）	東郷
日替わり食 堂	めじろ台周辺の 飲食店	毎日	住民	店舗の周知と及び始 める前のチャレンジ に	遠山
映画鑑賞会	まちづくり協議 会	週 1 回	子供とその親	「懐かしい映画」を テーマに上映	遠山
ママさんス ナック	主婦	週 2 回程度	主婦	お酒ではなく、ただ のカフェでもなく、 お昼にママさんが 1 人立って飲み物を飲 みながら交流	遠山
図書コーナ ー (いずれは設 けたい)	有志?		住民全般 (子供～学生～ 高齢者)	カフェ、イベントス ペース、 自習スペース、WiFi	中村 (4)
常設喫茶コ ーナ	有志?	毎日	住民	10 時頃から 16 時ぐ ら	竹野

活動名	実施主体	活動頻度	ターゲット	備考	提案者
お惣菜・お弁当市	商店会？	週2～3回程度	住民	近隣の飲食店が持ち寄ってお惣菜、お弁当を販売する。	竹野
書店と古書店	？	毎月1週間程度	近隣住民	毎回希望ジャンルを決めて品揃えする。 広場ではテントでの古本屋を併設する。	金剛
ドローン勉強会	まちづくり協議会？	週1回	近隣の子供たち	ドローンを飛ばす場所を提供。プログラミングの勉強も行う。場所は会館の方がいいかも。	金剛
プログラム研究会	地域の有識者、高専学生	月2回程度	小学生以上の興味ある方	デジタル化の時代に必要なツールとして	松原
宿題をやる会	大学生、住民	平日夕方毎日1～2時間程度	小中学生	子供が宿題などできて、それを見守る大人がいる環境。多世代交流につながる。	今田
テーマ喫茶	担当者になる住民を募集	週に1～2回程度、1回2～3時間	趣味仲間が欲しい住民	ジャズ、カメラ、絵、文学などいくつか固定のテーマを決めて、共通の趣味を持つ人の交流の場にする。各テーマが1～2か月に一回まわってくるようにする	今田
軽スポーツ (輪投げ、吹き筒)		毎月1、2回	子供から高齢者まで		鈴木

活動名	実施主体	活動頻度	ターゲット	備考	提案者
<p>チャレンジングシェアスペース（日替わりでコンテンツが変化）</p>	<p>何かを展示、発表したい人や、ビジネスを本格的に始める前にテストしたい人たち。あるいは他地域ですでに商売をしている個人や法人。それらをまちづくり協議会から立ち上げた NPO 法人または法人が管理並びに住民のニーズなどを聞き入れ都度最適な業種に出店をオファー。</p>	<p>月 26 日または無休（マンスリースケジュールを作成し、いつ、どのような催しをやるかをあらかじめ明示する）。最初のうちは月 2 回～週 1 回ほど、テストをしながら徐々にスケジュールを埋めていく。</p>	<p>幅広い世代の地域住民、高尾山への登山客</p>	<p>1カ所で色々な役割を担う。あそこに行けば何かしらやっていると期待され、気軽に会いに行ける場所 1日で複数の業態のコラボ出店（例：コーヒー屋とケーキ屋など）や面貸し、あるいは昼夜で二毛作的な営業方法 バラエティに富んだコンテンツの発信源。 ビジネス化することで雇用を創出地域経済に貢献 コミュニティの交流と新たな価値の創造、文化の発展の場として機能。 京王ストアの駐車場が公園化した際にイベントを開催できる自力 売上を使ってまちのベンチなどの購入費用などに充てるなどし、助成金ばかりに頼らない自立した組織</p>	<p>繁在家</p>
<p>ものづくり工房</p>	<p>まちづくり協議会から立ち上げた NPO 法人または法人が管理</p>	<p>月 26 日または無休</p>	<p>地域のものづくりに興味がある人たち</p>	<p>ものづくりに関する様々な機材を導入 地域の作家やものづくりが趣味の人がこれまで以上にクリエイティブになれる場所 それぞれのレベルややりたいことに合わせた WS 生産による作品回収、マーケット</p>	<p>繁在家</p>

多世代交流班 210829

■ イス・ベンチ

(山川) MMCで居場所づくりの一貫として活動。
(安心ネットで購入予定)どこに置くかは、それぞれの団体の許可を 空き地空き家チームの東さん(安心ネット)と一緒に管理方法等を議論

(中村/あんしん相談センター) 具体の置き場所・置くモノを考えている(山川さん、東さんとは相談している)

テーブルも公園の屋根も今後考えたい

(下島) 山川さんと一緒に

(小林) まちなかベンチプロジェクト事務局つくりたい。空き家空き地班でもやっているの、横断的にやっていきたい。

■ 信号機・点字ブロック等交通施設の改善

(小林) (下島) 継続的に・全体として取り組む

■ 多様なケアの提供

(小泉・瀬戸口/バードハウス) 介護保険でまかないきれないところのケア(保育園の送り迎え)を提供したい)

・(町田) 精神疾患のGHの掃除を現在やっている

・あんしん相談センターでケアにつながるようにPR

・コロナで外出しなくなってフレイルになる 9月半ばフレイルのお勉強会予定(すずのなる木さん)

■ フレイル予防

(山本/永生会) フレイル予防コンテンツたくさんあるのでいずれ発表の機会を

■ ノルディックウォーキング

(粉) 来月再開 他の活動にうまくつながる可能性がある

■ 相続相談

(玄葉) 多くの方が相続相談に。土地有効活用。発表可能。

■ 写真・作品等の募集・発表

(中村/一丁目) 旧5班(若い人向け活動)で話し合い、回覧板等で写真・作品等を募集(匿名等可)して発表。HPなど、懲戒掲示板を使って費用抑制。

■ 子育て情報発信(HP)

■ 駄菓子屋さん

(中村/一丁目) 詳細検討中 (中村/一丁目) コロナ明けに

■ 公園や町における子どもたちの状況調査

(大塚) 公園でタバコを数複数の未成年(目撃情報)どうすれば注意できるか? 町全体で取り組む方法を

2丁目では、未周りの人の人数を増やし、情報交換の場所・気化器

■ 中学生支援づくり

(落畑) 中学生支援(居場所づくり、オンラインで)をやっている そのうち、めじろ台で展開

■ 若い人の参加

若い人の参加ほしい(中村/あんしん相談センター)

若い世代の人にもきてほしい(鳥家/すずのなる木)

■ 空き家活用

(鳥家/すずのなる木)

毎月第三水曜 13-14 (6月から): 高齢者よろず相談会実施(あんしん相談センターとコラボ、周知をもっとしたい)

毎月第四水曜 14-15: お薬何でも相談(補聴器の不具合放置すると認知の問題→コロナ空けに)

8月: 映画上映会を企画(コロナではばかられ、延期) コロナ明けに: 落語ビデオ、おはぎづくり、しめ縄作り

■ 地域の様々な組織と一緒に

(萩原/あんしん相談センター) イトーヨーカ堂認知症サポート

4&6 班 空き家 / 空き地・住宅 / 空間

2021.08.29 14:30-

【メンバー（敬称略）】

千明（ちぎら）・斧林・榊原・東・中川（日本都市計画家協会）・大西・安藤（Jsarp）
金子（東大 GLAFS）・丸山（東大 GLAFS）・小林（大月研）

【全体の流れ】

1 これまでの話

8月29日会議の資料（P2,3）

大石さん斧林さん LINE 抜粋（p4）

2 マップ作成について（P5）

3 活用事例集について（P6）

めじろ台 4班・6班 具体的なゴールと検討の進め方について

空き家・空き地マップ

【課題・意見等】

- ・ 個人情報への配慮が必要
- ・ まちづくり協議会として作成する必要はないのでは？（町会作成のデータベースで十分では？）
- ・ マップづくりの目的・意味の再確認が必要

空間活用事例集

【課題・意見等】

- ・ 空き家・空き地の活用を促すうえで、わかりやすい事例集は不可欠
- ・ 各班にまたがるテーマであり、実施主体が不明確
例) まちなかベンチは3班で取り組まれている

【検討の方向性（案）】

- ・ マップの目的は、活用できる場所の拾い出し
- ・ 短期的には、個人情報に抵触しない範囲※で、空き地等、活用できる場所マップとして作成してはどうか
※ 事前承諾を得る、取り扱いは協議会内限りとするなど
- ・ 中期的には、空き地に限らず、めじろ台地区の魅力付けに向けた資源マップとして位置づけ、各班横断的活動

【検討の方向性（案）】

- ・ 4班・6班の短期的ゴールは、活用事例集を作成し、活用したい各班の取組を橋渡しすることでは？
- ・ 各班横断的な取組みについては、窓口の一本化・事務局設置等の検討が必要

4班・6班の短期的ゴール

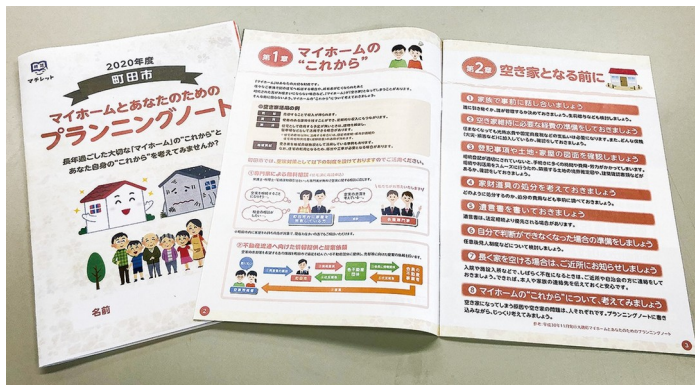
(3か月から1年)

空き地マップの作成



ワークショップ形式で、空き駐車場など活用できる空き地をわかりやすく示す地図を作成

空間活用事例集の作成



各班の取組を橋渡し



まちなかベンチなど

他の班での取組みに対して、マップを使って候補地を紹介するなど橋渡し

空き家・空き地所有者への働きかけ (各班の横断的取組)



めじろ台の活動に向けた地域資源活用マップ各班横断的な作成

空き地や空き家を活用した、各班横断的な取組みを通じて、地域の魅力づけにつなげる

大石さんより (LINE 抜粋)

=====

① この班 (空家空地住宅空間) が、協議会全体の中で担う役割

=====

(空き地空き家)

過去のアンケート結果から見える「空き地空き家をもたらす心配事」を中心に課題を整理し、解決事例 (予防策を含む) をまとめて提案する。提案の中には他班に関係あるものも含まれると思いますが、実施手前までであれば、並行して活動しても問題ないと思います。

(住宅空間)

めじろ台が持つ「住環境の良さ」を再確認し、維持する仕組みを提案する。こうなって欲しいという「住環境」も含めて良いと思います (たとえば、越境樹木の問題、世代交代時に若い世代に入ってもらい易くする、など)。

=====

② 空家空地マップは、はたして必要なのか？

=====

いますぐに必要なようには思えません。

マップを含む「空き地空き家情報」は各町会内で自給自足されているように見えるからです。

また、空きスペースマップとなると、利用のされ方 (誰がどのように使うのか) を、もう少し考えてみる必要があると思います。マップの更新が必要であれば、その仕組みも。

斧林さんより (LINE 抜粋)

マップの件は、私が参加しはじめた頃、空地空き家のマップが無いと、何も掴めないし、3丁目さんのマップを見せられて、4丁目のを作らなければと思いました。町会のマップをもとに、調べたものを上書きして、中村さんに送り、さらに中村さんが調べて追加されたものが、先日のマップです。

結論は、町会とは別に、まちづくりの管理するマップは必要と思います。

今後の、この班の活動は、空地、空き家の活用となると、長い時間が必要ですよね。

取り敢えず、活用事例を作って、アピールする事も、必要かと考えています。

2. マップ（データベース）作成

どのようなマップを作るのか？

空き家・空き地位置を網羅しためじろ台全体マップ

- ・ 4町会はそれぞれ空き家マップが存在（町会作成・個人作成）
- ・ 活用するには個人情報問題など許可が必要
- ・ 維持管理の問題（誰がいつどのように更新するのか）



- ・ 協議会としては必要ない
- ・ 更新を町会それぞれで行うのはどうか（更新システムの提案は可能）

イベントベースの協議会独自めじろ台全体マップ

- ・ ベンチマップ・イベントマップなど
- ・ 活動があるごとに随時追加・更新



- ・ 今現在載せれる活動が少ない（活動の見える化）
- ・ 誰がどう更新する？
- ・ これからの活動のきっかけになる

上とは別に、、、

- ・ 現在活用できる資源をまとめてみれる地図は作っておくべきではないか？
- ・ 自宅周りの空き家空き地の情報を報告できる窓口が必要か？
- ・ データベースという名前を変える？

3 . 活用事例集

活動の提案

- ・ 他地域の事例をめじろ台に当てはめて考え、できるものからやっていく。
- 短期的にできるもの・ 中長期的な期間が必要なもの
- 休憩ベンチ設置のお願い (3 班のニーズ) などは回覧板掲載可能では。

活動の見える化

- ・ 話し合いの土台として今ある活用事例をまとめ、より大きな活動へつなげる。

そもそも、4・6班の存在意義？

各班の活動の橋渡し

- ・ 各班から出たニーズに対して、場所 / 資源の提案 / 提供、活用までにいたるまでのお助けごと (資源所有者に対してのパンフレットやチラシ作成) など

広報活動

- ・ どこでどのような活動をしているかを情報発信
- ・ マップに合わせて作成していければいいのでは

4・6班として実際の活動

例) イベントマップの作成をワークショップで行う。など



今後は、4・6班の存在意義を各班との役割を見極めながら話し合う。